

千葉大学教育GP「グローバルエイジング時代の地域包括医療ケアを支える先導的薬剤師育成プログラムの開発ー世界へ発信できる教育モデルの開発を目指した取組ー」

平成29年9月8日に開催されたケアカフェちばに参加しました。

旭川医科大学緩和ケア診療部の阿部泰之医師を中心としたグループにより、旭川市内で医療・介護・福祉職者を対象として始まった会です。ワールドカフェ形式を用いた多職種によるグループディスカッションがメインのワークショップです。阿部医師らによるコホート研究では「ケア・カフェは、地域における医療介護福祉の連携を改善する有用なツールである」と論文発表されています。

現在は全国で150箇所を超えるケア・カフェが開かれており、千葉県内では千葉市・市原市・柏市・市川市・銚子市で定期的で開催されています。今回(第8回)は、千葉市薬剤師会在宅委員会が中心となって開催されました。当日は104名が参加されました。教育GPの学生も多職種の方々に交ざってディスカッションに参加させていただきました。社会人とのコミュニケーション能力を養うのにふさわしい場でした。

